



京都市立 西京極中学校

校是 「自立と貢献」

学校だより

令和4年度

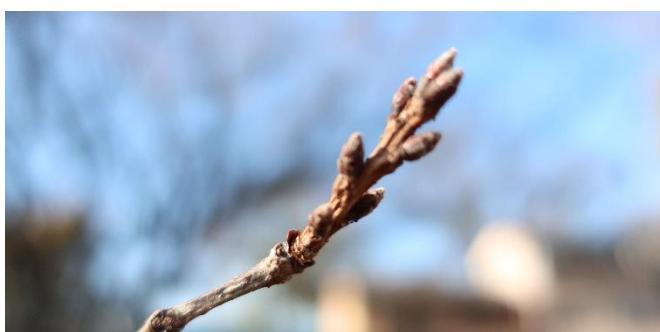
2月

文責：東郷伸也

春はもうすぐそこまで

二十四節氣では、小寒から大寒を経て立春の前日までが1年で最も寒い季節とされています。ちなみに今年の立春は2月4日。暦のうえではこの日から春が始まるとされています。まだまだ寒い日が続きますが、それでも春は一歩ずつ近づいています。太陽が出ている時間も長くなりました。(立春の日は、冬至の頃と比べると50分ほど長くなっています。)

校門の桜も、春を迎える準備をしています。



上の写真は枝の先についていた芽の写真です。春になったらきれいな花を咲かせる準備がもう整っています。この花芽は前年の夏に作られ、秋から一旦休眠状態になります。そして冬の厳しい寒さによって目を覚まし、春に向けての準備を始めるのです。なんだか私たちの生活サイクルと似ていませんか。3年生は希望の進路の実現に向けてすでにたくさんの準備をしてきました。そして、最も寒さの厳しいこの2月に入学試験というハードルを越え、そして暖かな春に新たな旅立ちの日を迎えます。3年生のみなさん、どうぞ自信をもってがんばってください！

2年生 華道いけばな教室

1月18日、2年生はいけばなに挑戦しました。池坊から先生に来ていただき、いけばなの歴史などについて話を聞いた後、実際に挑戦。4種類の花材と静かに向き合いながら、それぞれのイメージを表現していました。「花をいける（生ける）」というのは、「花の命を生かす」という意味だそうです。できあがった作品は、それぞれのタブレットで大切に写真に収めました。



2月行事予定

1	水	
2	木	PTA本部会
3	金	SC
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	評議専門委員会
9	木	
10	金	私立高校入試
11	土	私立高校入試
12	日	私立高校入試
13	月	
14	火	1、2年定期考査 1週間前
15	水	
16	木	公立前期選抜
17	金	公立前期選抜 SC
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	1、2年定期考査 育成学級小中交流会
22	水	1、2年定期考査 2年修学旅行保護者説明会
23	木	
24	金	1、2年定期考査 SC
25	土	
26	日	
27	月	完全下校 17:30
28	火	



「プレ中学生」(1月23日)

校区の3小学校から6年生のみなさんが来校し、「プレ中学生（体験入学）」が行われました。生徒会本部や各部代表の先輩が、優しく・元気に迎えてくれました。ステキな先輩の姿を見てもらえたと思います。



2年生「ようこそ先輩」(1月19日)

「ようこそ先輩」講演会・・・2年生はキャリア学習の一環として、体育館で現在高校2年生の「先輩」2人から話を聞きました。中3で進路を決めたときのことや勉強方法、高校での生活のことなど、普段教室で先生から話を聞くのとはちょっと違った雰囲気の中で、みんなとてても真剣に耳を傾けていました。私たち教職員も「なるほどなあ」と思うことも多く、大変勉強になりました。



「3年生 面接練習」(1月25日)

1, 2年生の先生方が面接官になって、3年生の面接指導が行われました。面接官役の先生方もスーツにネクタイ姿で臨場感もバツチリ。でも必要以上に緊張することはありません。ふだんのみなさんの姿を見てもらうことができれば大丈夫！

「どうしてこの高校を選んだのですか？」

「高校でがんばりたいことは何ですか？」

等々、しっかり答えられるようにしておきましょう。



2年生以外の皆さんにも内容の一部をお伝えしようと思います。先輩からのアドバイスは、

- ・進路のことは早く考え始めても早すぎることはない。
- ・高校を選ぶときは、自宅から近いからだけで選んではダメ。自分のやりたいことをしっかり考えて選ぶ。
- ・中3の頃コロナで休校とかもあり部活の試合もなくなった。だからこそ与えられた機会ギリギリまで部活をした。その分勉強も力いっぱいがんばって両立させてきた。
- ・苦手科目でも成績は上げられる。授業をしっかり聞いて、ノートをとって、提出物をしっかり出す。それだけでもきちんとやろう。
- ・高校では半分大人として扱われる。先生は細かな指示をしない。自分で考えて動く自律、自立の力が必要とされる。
- ・進路決定は自分を変えるチャンス。誰でも変われる。でも変わろうとしなければ変われない。
- ・将来の夢が決まっていくなくてもいい。将来の選択肢を増やすために今があるのだ。

先輩、ありがとうございました。



卒業証書の割り印省略について

卒業証書の割り印（証書の上の印／下図の○の印）について、京都市教育委員会の方針に基づき、本年度から省略いたします。

割り印は、卒業証書と卒業証書台帳（卒業生の一覧が記録される帳簿）の関連を証明するため、2つの紙面にまたがらせて押す印鑑です。押印に法令等の定めはなく、卒業証書と卒業証書台帳の関連も番号や氏名等で関連を証明できるため、押印作業の手間や、今後の台帳の電子化等も見据え、本年度より、全市統一で割り印を省略することとなったものです。

